

わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター

ライフドアすわの取り組み

地域包括ケアシステムを支える人々

60

諏訪市地域包括支援センターは諏訪市役所高齢者福祉課内に設置されています。せっかくこのような機会をいただきましたので、今回は改めて

地域包括支援センターの役割をご紹介します。皆さまと一緒に、書き出してみたいもの、皆さんは「地域包括支援センター（以下「包括」とします）」をご存知でしょうか？実際に相談された方や高齢者福祉の仕事に関係する方を除くと、あまりよく知らない、聞いたこともない…、と

いう方が少なくないのではないのでしょうか。そのようなよく知らない窓口では、なかなか込み入った生活の相談はしづらいものですよ。

包括とは高齢者の生活に関する「総合相談支援」「介護認知症」「予防事業」「権利擁護」「包括的継続的ケアマネジメント」などの事業や、ライフドアすわと協働して「地域医療・介護連携」などの事業を行う、地域共生社会の実現に向けた高齢者福祉の推進機関です。つい硬い説明になって

諏訪市地域包括支援センター

しまいがちですが、簡単に言うところ、高齢者が困ったときのよろず相談窓口です。「一人で頑張って生活してきたけど、体力も落ちてきたし、何とかこの先不安だなあ」とか、「久しぶりに会った家族（親族）の様子、なんかちょっとおかしくない？」とか、「（近所の）あの家、いつも介護が大変そうな雰囲気だけど、大丈夫かなあ」なんていう時にこそ私たち「包括」にぜひご相談を。皆さんご事情に沿って、介護サービスなどの制度を紹介したり、より生活しやすい方向へ改善できるように一緒に考えさせていただきます。

福祉分野には「個別化」という基本の考え方があり、一人ひとりの個性や考え方が尊重されることが大切だとされています。暮らし方や考え方が



諏訪市地域包括支援センターの職員

は人それぞれですが、気付かないうちに「こうあるべきだ！」「こうしなきゃいけない！」と、ステレオタイプ（固定概念）な考え方になって、自分や相手のことを想うあまり、辛くなってしまったり、重ね、認知症が進み、今まで通りの生活が難しくなってきたとしても、私たち包括は「誰もが元気に安心して暮らせるまちづくり」をスローガんに、皆さんにご協力いただきながら私たちは時代に沿った諏訪市の地域包括ケア体制づくりを進めてまいりますので、より身近な地域の相談窓口として包括をご利用いただければ幸いです。

最後に、近年のコロナ禍で外出や地域の交流、遠方にいる親戚の往来などの機会が減って何かお困りのことはありますか？包括で開催している介護予防教室や、地域の身近な相談窓口として設けられている市内4か所の在宅介護支援センターもお気軽にご利用ください。

（毎月第2日曜日掲載）

誰もが元気に安心して暮らせるまちづくり

諏訪市地域包括支援センターのご紹介